

■米国：猛暑で PEPCO 社の地中ケーブルに火災発生

米国東部は7月としては記録的な猛暑に襲われた。2010年7月7日に地元メディアが報じたところによると、猛暑の影響によりワシントン DC の北東部で停電が発生した。同地区に電力を供給する PEPCO 社によると、高温と需要急増のため地中ケーブルに火災が発生したという。焼損したケーブルの長さは90m程度であり、張替え工事実施により復旧したと思われたが容量不足のため追加工事が必要となった。24時間体制で復旧作業に当たっているが、摂氏60度を越えるマンホール内の温度が作業を遅らせている。PEPCO社は顧客に対して節電を呼びかけており、場合によっては供給電圧を下げて需要を抑制することも予告している。